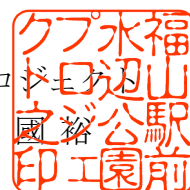


平成19年12月25日

広島県教育委員会
教育長 榎田好一様

福山駅前水辺公園プロジェクト
发起人代表 三宅 國裕



福山城外堀遺構の保存取扱いに関する要望書

福山市が進めている福山駅前整備事業の地下送迎場工事において、福山城（国史跡）の外堀遺構の石垣が出土しました。その後の発掘調査では、石垣の状態は大変良好であり、385年前の築城当時のものであることが確認されました。さらに、隣接する東部分の試掘調査でも、御水門・二重櫓・舟入状遺構も良好な状態で保存されていることが確認されています。しかし、福山市が計画通り地下送迎場工事を進めた場合には石垣の大部分が破壊されることになります。

10月1日、遺構破壊に危機感を持った市民38名が発起人となり、「福山駅前水辺公園プロジェクト」を立ち上げ、遺構を保存・活用し水辺公園とするプランを掲げ署名活動を開始しました。

12月17日には署名者数が目標の十万人に達しましたので、別添の要望書に添え福山市長と市教育委員会教育長へ提出いたしました。

本プロジェクトでは、福山市発展の原点である福山城の遺構が保存・活用されることを願い、以下の2点について要望いたします。

文化財保護法の精神に則り、福山市教育委員会が市開発部局と対等な立場で遺構保存に関する協議を進めるよう、指導・助言をお願い申し上げます。

- 一 今後の発掘調査に関して、福山市文化財保護審議会へ迅速な報告を行い、細部に渡り指示を受けるよう指導
- 二 発掘した遺構の評価・取扱いについて、広島県教育委員会及び文化庁の助言を遵守するよう指導

以 上

* 添付資料

福山市長への要望書	一部
署名簿コピー(DVD)	一部
署名用紙	一部
ポスター	一部
福山市文化財保護審議会提言書	一部